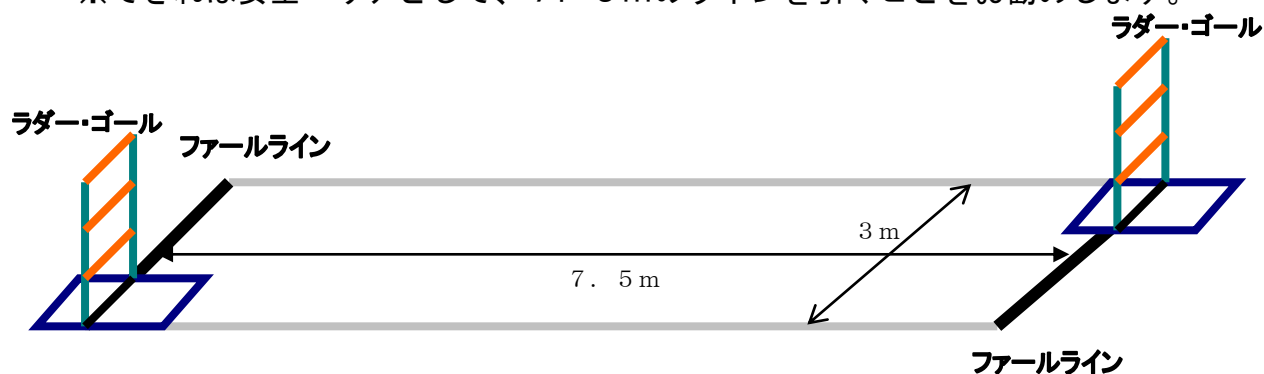


● ラダーゲッターの正式競技ルール

□基本コート

- 7.5 mの間隔を取り、3 mのラインを平行に引きます。
 - 図のように、ラインの端に、本体（ラダー・ゴール）の中央部をラインに合わせておきます。
- ※できれば安全エリアとして、7.5 mのラインを引くことをお勧めします。

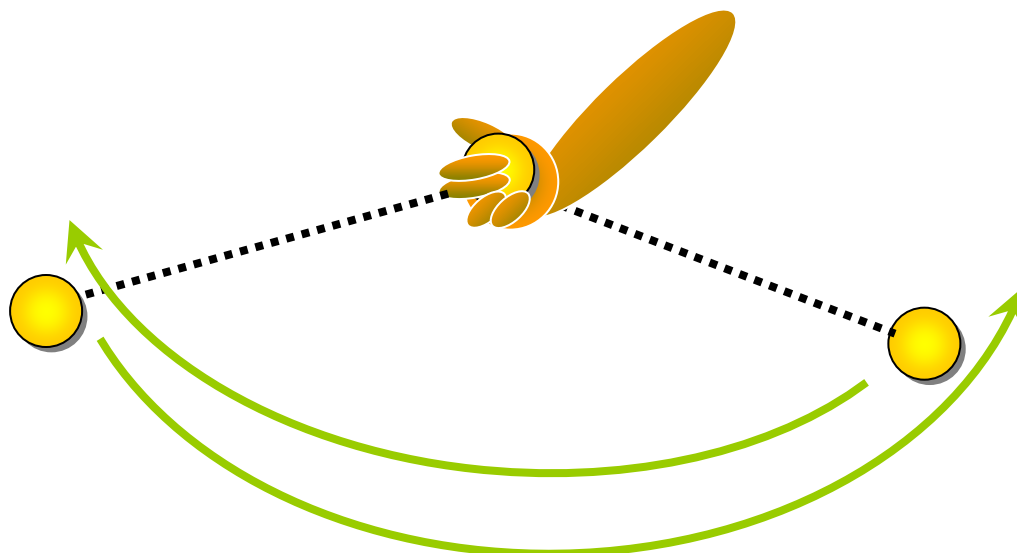


□プレーの基本

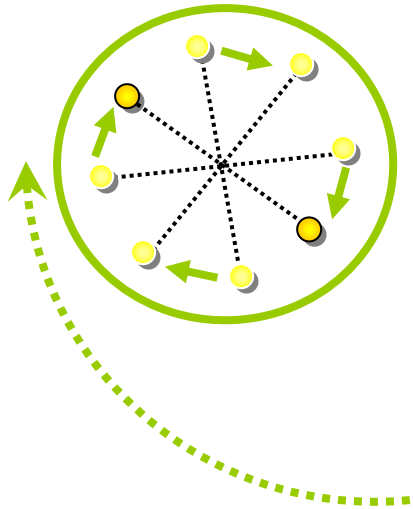
- プレーヤーは同じ色のボールを三つ使用します。
- プレーヤーはファールラインの後ろから、7.5 m離れたラダー・ゴールに向かってボールを投げます。
- ボールを投げる時は、必ずボールを持ちアンダースローとします。
- ボールの位置をずらすことは出来ませんが、紐を結ぶなどの加工は出来ません。
- ボールがうまくラダー・ゴールにひっかかればポイントを得られます。ボールが床に落ちてしまったり、他のプレーヤーによってはじかれてしまった場合はポイントが入りません。

<ボールの投げ方(基本)>

- 投げる時は片方のボールを持ち、下手投げで前後にゆっくりスイングします。



○振り子の反動を上手く使いゴールに向かって投げます。そうするとボールは後方に回転しながら飛んでいきます。



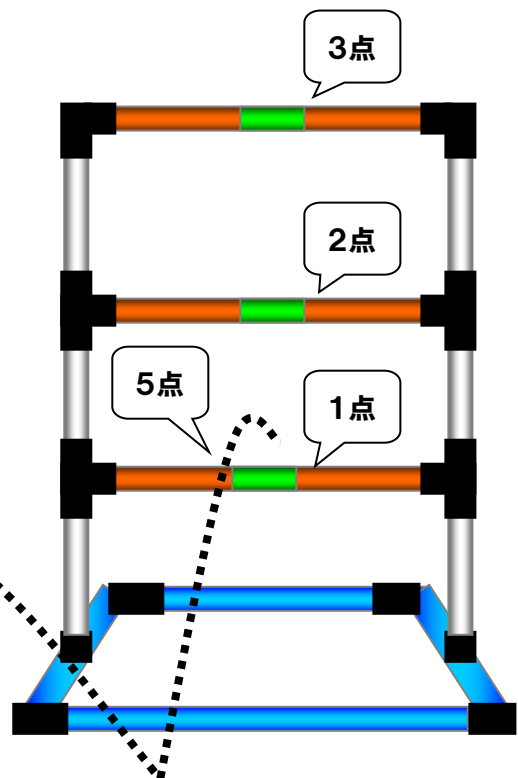
○狙いのラダーに、振り子となるボールの先端が向いていることを確認して手を離します。

□得点

<得点>

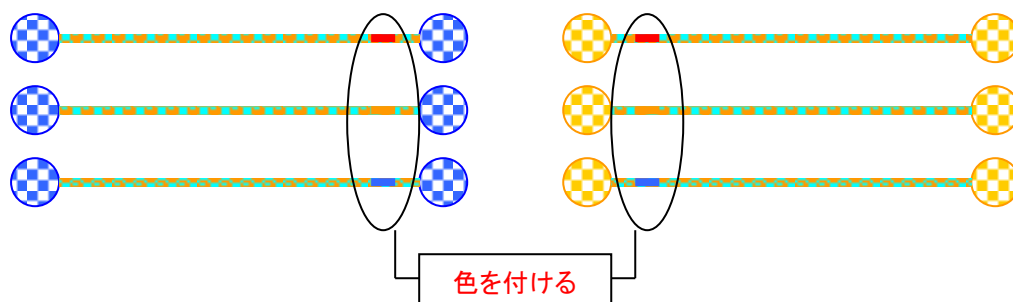
- 一番上のバーにボールがひっかかる：3点
- 真ん中のバーにボールがひっかかる：2点
- 一番下のバーにボールがひっかかる：1点
- 地面にバウンドしていずれかのバーにボールがひっかかる：5点

※ バウンドした場合の得点は、どのバーにひっかかって5点です。(床が硬い場所や軟らかい場所によってバウンドが異なるため)



※旧ボールのヒモには、プレー前にマークを付けましょう！

投げたボールの順番がわかるように、ヒモの部分にマジックやビニールテープで色をつけると良いでしょう。また、投げるボールの順番を決めておくと、判定しやすくなります。



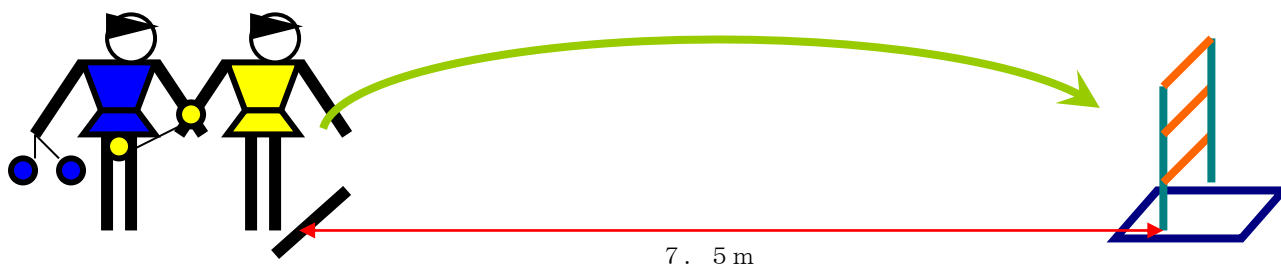
□勝敗

- 1試合5セットマッチとし、3セット先取したプレイヤーが勝ちとなります。
- 1セットは、21点先取したプレイヤーが勝ちとなります。
- ただし、ぴったり21点で終わる必要があります。
- さらに、21点先取制で5セットマッチを行い、先に3セット取ったプレイヤーの勝ちとなります。
- 先攻プレイヤーと後攻プレイヤーが同じラウンドで同時に21点を獲得した場合は、次のラウンドで得点の高かったプレイヤーがそのセットの勝ち（勝者）となります。

□ゲームの進め方

<シングルス戦…1人对1人>

- ①投げる順番（先攻／後攻）を決めます。勝った方が先攻か後攻を選べます。（基本は、後攻を選んだ方が優位のケースがあります）
- ②両者は一つの同じラダー・ゴールに向かってボールを投げます。まずは、先攻のプレイヤーが手持ちのボールを1つずつ連続で3つ全て投げます。

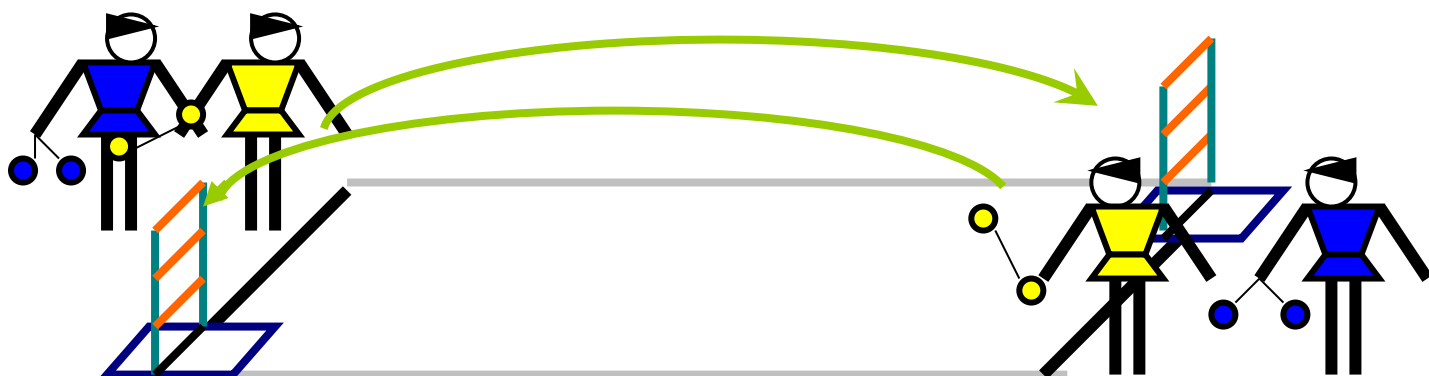


- ③先攻のプレイヤーが投げ終わったら、後攻のプレイヤーが同じく3つのボールを連続で投げます。ここまでが1ラウンドとなります。
- ④1ラウンドが終わったら、2ラウンド目にうつります。2ラウンド目に先攻となるのは、前のラウンド終了時に合計得点が高かったプレイヤーとなります。* 2ラウンド目以降は、常に前のラウンド終了時の合計得点が高かったプレイヤーが先行。前のラウンドで同点だった場合は、その前のラウンドで合計得点が高かったプレイヤーが先行です。

- ⑤ゲームを進めていき、どちらか先に21点先取したら終了となります。*これを1セットとします。
- ⑥セット間ごとの先攻は、前のセットでの勝者となります。
- ⑦先に3セット取ったプレイヤーの勝ちとなります。

<ダブルス(ペア)戦…2人对2人>

- ①まずは、シングルス戦と同じように先攻/後攻を決めます。
- ②両ペアそれぞれ対面するファールラインの外側に分かれます(下絵参照)。
- ③先攻ペアがそれぞれ反対側のラダー・ゴールに向かってボールを1つずつ(計6つ)投げます。
 ※投げる順番は、対面に分かれた先攻ペア同士で、さらに先投げと後投げを決め、1つずつ交互にそれぞれ3つ(計6つ)のボールを投げます。
- ④先攻ペアが全てのボールを投げ終わったら、同様に後攻ペアが投げます。両ペアが全てのボールを投げ終わり、どちらも21点に達していない場合は、それぞれコートを移動し勝負がつくまでラウンドを続けます。*ラウンドごと、コートチェンジをします。
- ⑤その際、前のラウンド終了時点での合計得点が高かったペアが、次のラウンドで先攻となります。*前のラウンドで同点だった場合は、シングルス戦と同様です。
- ⑥勝負がついて次のセットを開始する時、前のラウンドで負けたペアは先投げと後投げの投げる順番を交代します。



●こんな場合はどうするの?(正式競技Q&A)

- Q. 21点をオーバーさせてしまったボールはどうするの?
 A. オーバーさせてしまったボールは、対戦プレイヤーがプレーする前に取り外します。ただし、あくまでもオーバーさせてしまったボールのみです。
- Q. 21点取った時に手元にボールが残っている場合はどうするの?
 A. 手元に残っているボールは、全て放棄します。21点をオーバーさせてしまった時も同様です。

Q. 壁や天井に当たった後にラダーに引っ掛かった場合は…？

A. この場合は無効で、ラダーに引っ掛かったボールは取り外します。あくまでも直接かラダーの手前にバウンドして引っ掛かったボールのみが得点となります。

Q. サイドの縦のパイプに引っ掛かってしまった場合は…？

A. 得点になります。3点と2点の間の縦のパイプに掛かった場合は2点、2点と1点の間のパイプに掛かった場合は1点となります。ただし、1点と地面の間の縦のパイプは得点になりません。

Q. 何回もバウンドしてラダーに引っ掛かった場合は…？

A. ラダーの手前にバウンドして引っ掛かったボールは、バウンドの回数に関係なく全て得点（5点）になります。

Q. バウンドして3点のラダーに引っ掛かった場合は…？

A. どのラダーに引っ掛かっても、バウンドしてから引っ掛かったものは全て5点です。

Q. 投げ方は、アンダースロー以外はダメなの？

A. 安全性を考慮し、ラダーゲッターの場合は全てアンダーハンドで投げることにします。ただし、一方のボールを持ってスウィングして投げる方法だけでなく、ボールの位置をヒモの中央部分にずらして投げたり、両方のボールを持って投げるのも可能です。ただし必ずボールを持って投げる必要があります。* ヒモを持って投げるのはアウトとなります。

Q. ラダーに引っ掛かっている自分のボールを弾き落としてしまった場合は…？

A. ラダーに引っ掛かっているボールに当てて落としてしまった場合は、自分のボールでも、その点数は無効となります。また、3点に引っ掛かっていたボールが、落とされ2点のラダーに引っ掛かった場合は、得点が2点に変更になります。ただし、バウンドして3点のラダーに引っ掛かっていたボール（得点は5点）が落下し2点のラダーに引っ掛かった場合は5点のままです。しかし、地面に落ちてしまった場合は0点となります。

Q. ラダーではなく、ラダーに引っ掛かっているボールに、投げたボールが絡んでしまった場合は…？

A. この場合は得点にはなりません。あくまでも、ラダーやサイドのパイプに引っ掛かった場合のみ、得点になります。

Q. ダブルス（ペア）戦の場合、先投げ、後投げ含めて計6回続けて投げるとのことだが、先投げが投げて、21点をオーバーしてしまった場合、投げる順番はどうなる？

A. ダブルス（ペア）戦に限らず、21点以上得点を取った時点で、残りのボールは全て放棄します。

Q. プレー中に地面に落ちているボールはどうするの？

A. ラウンドが終了するまでそのままにします。ラダーの手前やその周りの地面に落ちているボールによって対戦者のバウンドプレーを妨害する可能性もあります。作戦的な効果もありますので、ラウンドが終了するまで地面に落ちているボールは拾わないようにしましょう。